



目次

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 発刊の辞 | 6 データベースで探す |
| 2 特集「学生時代に読んだ本」 | 7 こんなときどうする？ Q & A |
| 3 学生からの寄稿 | 8 図書館の森 |
| 4 本学教員の執筆図書 | 9 図書館からのお知らせ |
| 5 19年度ジャンル別貸出ベスト5 | |

発刊の辞

附属図書館長 野津 滋

大学図書館の役割は、学生の皆さんの学習と、先生方の教育研究に資料の提供等を通じて貢献することです。これらの中で、学習に必要な資料（電子媒体を含む）の整備は、各学科の図書館専門委員の先生と連携して行なっています。さらに、文献検索をはじめとする各種の学術情報を瞬時に検索できる機能の提供や、県立図書館相互貸借システムによる図書の受け渡しも行っています。

本学の教育で大切にしていることは「人間・社会・自然の関係性」を十分に認識し、新たな問題を的確に解決できる人材を育てることです。このためには、ともしれば狭く

なりがちな専門の枠に閉じこもらずに、さまざまな分野に興味を抱き、積極的に知識を吸収し、幅広い視点から社会のできごとを考察する訓練を重ねることが大切です。専門を生かすためには幅広い知識が欠かせません。そして、幅広い知識を時間をかけて獲得できるのは学生の特権と言えるでしょう。

大学図書館はレンタルブック店ではありません。系統的な学習資料を提供する場です。図書館を積極的に活用し地域社会に大きく貢献できる人材に育ててください。この図書館報がその一助になれば幸いです。

特集

学生時代に読んだ本



ストレイシープ

夏目漱石「三四郎」

学長 三宮 信夫

学生時代といっても私の場合半世紀も前のことになる。しかも私は過去を振り返るのが好きでない。けれど、当時読んだ本について何か書けというので、書棚の奥にかくれていた夏目漱石の「三四郎」を取り出した。その内容はほとんど忘れてしまったが、そこに出てくる「ストレイシープ（迷羊）」という言葉と、明治時代の学生生活に当時あこがれていたことはよく覚えている。

主人公の三四郎は熊本から上京したのであるが、私は和歌山市に生まれ育って、星林という県立高校から京大工学部に入った。あこがれの大学ということで最初はうれしい日々を過ごしていたが、すぐに自分の周囲の学生が皆大人のように感じ、自分だけが子供じみて幼稚でみじめに思うよ

うになった。このコンプレックスを払拭するのに、実はずいぶん長い時間を要したのであるが、そのとき三四郎を中心とした東大生の生活ぶりとは対比させて無理に納得したりして、自分をごまかしながら生きる術を会得した。

明治と昭和、東京と京都、文系と工系系というように両者に大きな差異はあったが、当時は未だ新幹線はなく、テレビや電話も庶民の家には普及していなかったため、三四郎の世界に抵抗なく入れたのである。ストレイシープを自分自身に重ね合わせて、ひとりで疎水べりの哲学の道などをよく散歩した。大学の授業は難しくよく分らなかった。当時は授業は難しいのが当たり前で、学生がよく理解できるように教える教員は殆どいなかった。恋愛についても、プラトニックラブというなつかしい言葉を登場させなければならぬ状況が多かったと思う。自分はどんな女性と恋愛できるかなといつも考えるが、行動には仲々移せなかったものである。

さて、あれから半世紀を経たずいぶん変わってしまった。正直にいえば、私は今のようグローバル化とITの時代に学生時代を過ごさなくて良かったと思う。情報は迅速に伝わるようになったが、意志決定は今と昔では大して変わっていないと思うからである。



「老人と海」

E. ヘミングウェイ

学生部長 高井 研一

かなりのものがどこかに行方不明であるが、本棚に並んであるセピア色した岩波文庫が学生時代に読んだ本の主なものである。ゲーテ「ファウスト」、エンゲルス「空想より科学へ」、ポオ「黒猫」、ニーチェ「道徳の系譜」、ヘミングウェイ「日はまた昇る」の外国もの、倉田百三「出家とその弟子」、夏目漱石「三四郎」、寺田寅彦随筆集、志賀直哉「暗夜行路」、太宰治「斜陽」の日本ものなど挙げればきりがなが小説あり、哲学書あり、随筆、戯曲ありと何でもありの乱読で、今頃の若者の読書傾向とはかなりの隔りがある。

時が経ち病院勤務医の頃は司馬遼太郎、松本清張、遠藤

周作、宮本輝、藤沢周平などの日本人作家を好んで読むようになった。ふと日常臨床から離れ息抜きの時間を持ちたいと思い、それは忘我の瞬間であり宮本輝の作品などはそのストーリーの流れに感心し大いに楽しませてもらった。何かを吸収してやろうと考えていた学生時代に比べ読書に求める思いの違いであろう。

ところで私が学生時代には全集ものが多く出版されていたようであったが、その中でノーベル文学賞作家のヘミングウェイ全集（三笠書房）第10巻：福田恆存訳の「老人と海」が印象に残っている。フォークナーやスタインベックなどのアメリカ文学の中にあつて、また何でもありの乱読の中にあつてこの男性的な作品が忘れられない。巨大なカジキを捕獲したが引っ張って港へ帰る途中に鯨に食いちぎられてしまった老人の物語である。少年との会話や自身の独語の心理描写に老人とカジキ、鯨との肉体闘争を通じて、若ければ勝利していたであろうが結局は敗北してしまう老人の寂しさ、孤独を感じる。今読み返しても一気に読んでしまう小説である。

「ヒクメット詩集」

N. ヒクメット

全学教育研究機構長
伊藤 國彦



昭和38年4月、煤煙で真黒な残雪と薄汚れたスズメと馬糞風（馬車がまだ見られた）に迎えられて、札幌の街に降り立ったのが、学生時代の始まりだった。一斉に花咲く憧れの北国の美しさと芳しさを味わうには少し時間が必要だった。

みんなが貧しかった、けれど夢と憧れだけは背負いきれないほど持っていたように思う。

60年安保闘争の挫折からやっと立ち直った青年たちが、70年安保廃棄に向けて運動を展開し始めた時期でもあり、新しい文化運動が模索されていた時代でもあった。

多くの学生はその両方に関与するのを当然のこととして受け止めていた。

当時、日本は米帝国主義の従属国であるので、真の独立国家を建設すること、それに引き続いて起こる革命（史的弁証法によれば当然の帰着とされた）に学生はいかに関与すべきであるか、大学や学問や文化はどのように国民に奉仕すべきであるか、などが議論の中心であった。

学生集会、デモ、サークル活動が一日の中心にあり、安ウイスキー片手に夜を徹しての議論が生活の大きな部

分を占めていた。

解りもしないマルクス、レーニン、エンゲルスの著書やプロレタリア文学をはじめヘッセ、トルストイ、ロマン・ローラン、シュトルムなどを読み漁り、なんとか論争に負けない自分の価値観を確立したいと無理をしたものだ。

生来の気の弱さもあり、暴力革命には否定的ではあったが、人間的とは思えない暴力の正当防衛論が横行し始め、党派闘争の中で自己を保つには自分で考えるしかないと思い始めた頃出会った本の1冊が「ヒクメット詩集」（飯塚書店刊）である。

トルコの革命家で詩人であり、原爆で亡くなった少女に寄せた詩「死んだ女の子」の作者でもあるが、氏の獄中書簡の中に書かれた詩を読み、求める人間観への手がかりを得たと感動したのを覚えている。その一節を紹介したい。

19

いちばんすてきな海
それは まだ見たことのない海
いちばんすてきな子ども
それは まだ育ったことのない子ども
いちばんすてきな時代
それは まだ生きたことのない時代
いちばんすてきなことば
それは まだ言ったことのないことば
そのことばを ぼくはきみに捧げたい

図書館報の名称募集中

「図書館報」の名称（愛称）を募集します。採用の方には賞品を進呈！図書館カウンターで受け付けています。どしどしご応募ください。（締切：10月10日）

学生からの寄稿

図書館で出会った一冊



平成19年度ベストリーダー賞受賞
保健福祉学部看護学科4年
佐藤 明恵



図書館で借りた本は、さていくつになるのだろうか。そして、私はどんな本を読んできたのだろうか。ふと思いを巡らせれば、本の中で出会ったたくさんの言葉たちが溢れてくる。

ヒトに自分の好きな本を教えるのは恥ずかしい。なんだが、自分の中身を知られるような気がするものだから。自分が勧める本をヒトはなんと思うだろう。その本を勧める私をヒトはどう思うだろう。そう思うと、緊張する。しか

し、そんなことも言ってもらえない。恥を忍んで好きなように書かせてもらおう。

さあ、私が好きな本について、少しお話ししよう。それは、山田詠美の『放課後の音符(キイノート)』という。この本にはいくつかの独立した短編が収められている。そのどれもが、女と女の子の間にいる彼女たちを主人公にした物語。迷って、助けられて、綺麗になってゆく彼女たちの物語。助けてくれるのは、友だちだったり、親だったり、香水だったり。すべてのものが彼女たちに向かってゆき、それらに彼女たちは出会う。そして、主人公は彼らに気づき、受け取り綺麗になってゆく。

綺麗になってゆく彼女たちは、助けに見えるものたちさえも自分で手に入れているのだと思う。自分の力で求める自分へと変わってゆくのだと、私は思う。そういう在り方を、私は素敵だと思った。

はじめにこの本を読んだときの私と、今の私は違うと思う。それでも、この作品はあの時の私の気持ちをしっかりと捉えたことに変わりはない。時がたった今も、あの時感じた思いは私の一部となって生きている。

今回は小説についてお話をさせてもらったけれど、図書館にはジャンルに隔たりなく多種多様な本たちが、そこにいる。待ってるなんて言わないけれど、確かにそこにある。彼らに出会わないのはすごくもったいない気が、私はする。だから、私は彼らに会うために図書館へ向かう。

本学教員の執筆図書(2007年)

所属学部	氏名	タイトル	出版社
保健福祉	井村 圭 壯	日本社会福祉史：明治期から昭和戦前期までの分野別形成史 (福祉の基本体系シリーズ：6)	勁草書房
		社会福祉援助の基本体系(同上シリーズ：7)	
保健福祉	永井 成 美	パソコン&データ活用法：しらべるまとめる指導に生かす	東山書房
保健福祉	辻 英 明	食品学(栄養科学シリーズNEXT・食べ物と健康)	講談社
		食品学総論(同上シリーズ)	
		食品学各論 第2版(同上シリーズ)	
デザイン	柴田 奈 美	句集 黒き帆	ふらんす堂

19年度ジャンル別貸出ベスト5

900番台(文学)ベスト5

順位	書名	著者	回数
1	赤い指	東野圭吾	15
1	図書館戦争	有川 浩	15
3	容疑者Xの献身	東野圭吾	14
3	秘密	東野圭吾	14
3	一瞬の風になれ 第2部	佐藤多佳子	14

東野圭吾の作品が圧倒的に多いのは、昨年度シリーズを購入し、展示方法を工夫したことが大きい。アニメ化もされ話題の『図書館戦争』シリーズは、「図書館の自由が侵される時、我々は団結して、あくまで自由を守る」と、図書館を舞台に繰り広げられるSF・アクション・ラブコメディ。

400番台(自然科学)ベスト5

順位	書名	著者	回数
1	身近に学ぶ力学入門	伊東敏雄	29
2	力学ミニマム	北村通英	27
3	エビデンスに基づく 症状別看護ケア関連図	小坂橋喜久代 阿部俊子編著	25
4	なぜ?どうして?:看護・コメディカル・医療事務・介護スタッフのための Vol.3	医療情報科学研究所編集	23
5	New疾患別看護過程の展開	山口瑞穂子他監修	22

看護系の本の貸出が多い。また、力学の本の貸出が目立つ。使いやすい、読みやすい、わかりやすいからか。

(図書館：肥田、山田)

データベースで探す

第1回



新聞記事を探す

朝日新聞オンライン記事データベース「聞蔵」

- ・1984年8月以降の朝日新聞記事全文と各都道府県の県庁所在地で発行する地方版（沖縄を除く）のほかに

- 「AERA」「週刊朝日」「知恵蔵」が検索できます。
- ・図書館内の特定端末でのみ利用可能です。

山陽新聞総合データベース Sandex (サンデックス)

- ・山陽新聞掲載の記事（1996年10月～）・写真（2002年1月）・紙面（過去3ヶ月分）が検索できます。
- ・学内端末で図書館のホームページ データベース Sandex（山陽新聞総合データベース）から利用できます。（図書館：浅野）

こんなときどうする？ Q&A

Q：学生証を忘れても本を借りれるの？

A：貸出できません。必ず学生証をお持ちください。

Q：今日が返却期限だけど、もう少し借りていたいのですが？

A：その本に予約がなく、返却の遅れている本がなければ、貸出延長（その日から2週間）が可能です。返却期限までに学生証と延長希望の本をカウンターにお持ちください。

Q：返却が遅れている本があるけど、他の本を借りられるの？

A：貸出できません。遅れている本を返却いただいたら貸出可能となります。

Q：雑誌の最新号は借りることができないの？

A：貸出できません。雑誌は3ヶ月を経過したのみ貸出可能となっています。

（図書館：宮川）



図書の森



「貴重本」から

図書館1階の奥深く、ガラス張りのケースの中にひっそりと、その箱入り姫（むすめ）は眠っています。木箱に納められた姫の名は「ペリー公のいともしき聖母時禱書」（基督教の一般信徒のための祈禱書のこと）その名の通り、革製の表紙や小口に「金の箔押し」が施された豪華な仕立てになっています。

本館所蔵品はファクシミリ版（写真複製版）で、この元となった写本は中世末期に貴族が作らせたものです。

その時代の主要画家が参画しており現存するものでも特に華麗と言われています。（図書館：花岡）



図書館からのお知らせ

・マイライブラリ募集中！

マイライブラリとは、自宅のパソコンから自分の貸出状況・返却期限・予約状況・新着図書・図書館からの連絡等を閲覧できる便利なシステムです。カウンターにて随時申し込みを受け付けています。

・企画展開催中！

『Pop-Up しかけ絵本がいっぱい』7月7日まで。今話題の飛び出す絵本（ポップアップ絵本）や動かして遊ぶしかけ絵本など、大学の図書館にも意外に絵本が豊富にあります。宝の山の中からあなたのお気に

入りの一冊を見つけてください。

・夏期休業にともなう開館時間等の変更

開館時間：8月1日～9月30日までは
9：00～17：00

休館日：土・日・祝日、8月26日・27日蔵書点検日

貸出冊数：学生1人10冊、7月18日～9月30日

返却日：10月1日

ただし7月18日～9月16日に借りた

・第2号は11月1日発行予定です。

この図書館報は図書館のホームページからご覧いただけます。